

サーモスタットシヤワー 金具・混合栓

TOTO

取扱説明書

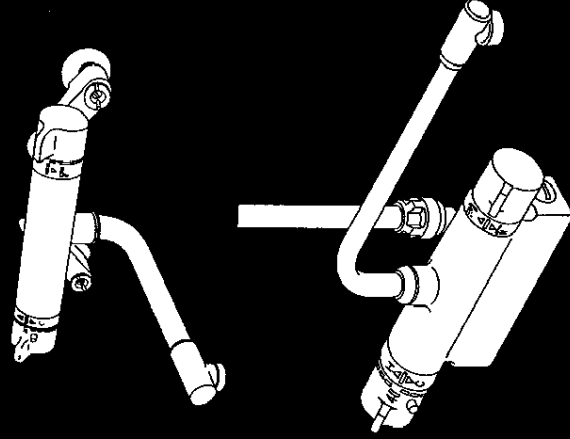
- このたびはTOTOサーモスタットシヤワー金具・混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は、保証書とともに大切に保存しておいてください。

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)



もくじ

安全上の注意	1～3
使用上の注意	3～4
温度調節のしかた	4
特長・各部のなまえ	5～6
つかいかた	7～8
凍結予防のしかた	8
手入れのしかた	9
故障したときは	10

安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、**傷害**または、**物的損害**が発生する可能性がありますを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

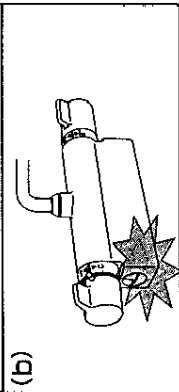
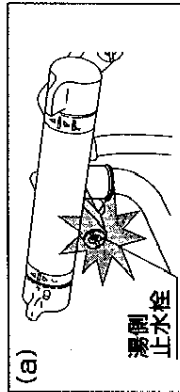
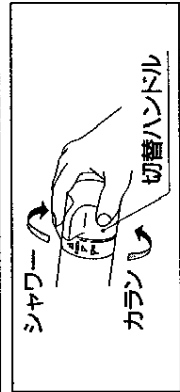
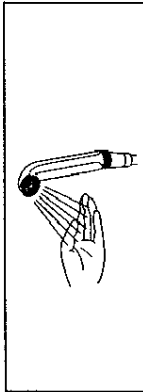
⚠ 注意

(1) シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)

(2) お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。カラン吐水を間違えると、やけどをするおそれがあります。(シャワー付)

(3) 湯側止水栓 (TMJ46型の場合は本体の左下側) は給湯部のため高温になっています。高温部の表面に直接肌を触れないようにして下さい。やけどをするおそれがあります。

- (a) TMJ40型、TMG40型の場合
- (b) TMJ46型の場合



温度調節ハンドル

(4) 使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻しておいてください。次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。

水側

(5) 高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

温度設定の確認

(6) ハンドルの温度位置を確認した後、吐水してください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

ゆっくり回す

温度調節ハンドル

(7) 温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。やけどをするおそれがあります。

カラン

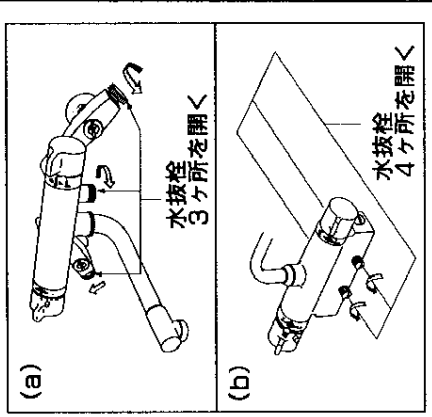
(8) 熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。(カラン付)

ゆっくりと

(9) ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

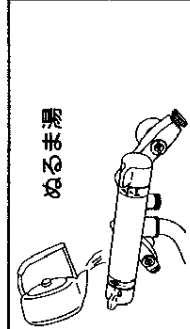
(10) 凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

(a) TMJ40型、TMG40型の場合
(b) TMJ46型の場合



使用上の注意

凍結すると少しの間吐水しませんが(寒冷地用の場合)



凍結した場合、水抜きを行っていてもストレーナの表面に付着した水滴が凍り、通水後も少しの間吐水しない場合がありますのでそのときは、ぬるま湯であたためてください。

温度調節ハンドルの目盛“40”と吐水温度40℃があっているか確認してください。(P.4 温度調節のしかたを参照ください。)

台湯機が瞬間型の場合

吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますので、ハンドルはできるだけ全開でご使用ください。
給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は切替ハンドルで調節を行ってください。(切替ハンドルを全開にするとう水量が多すぎる場合は、止水栓であらかじめ流量調節を行ってください。)

3. 混合水栓から吐水する温度より、10℃以上高い温水を供給するよう給湯機側の温度を設定してください。

4. 次の場合は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は、給湯機の設定温度(能力切替式の場合は能力)を少し下げてお試してください。

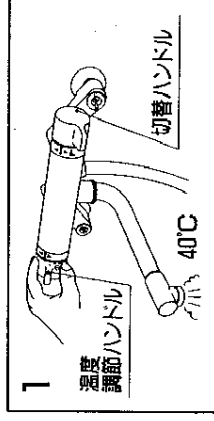
- 給水圧力が低いとき
- 水温が高いとき

温度調節のしかた

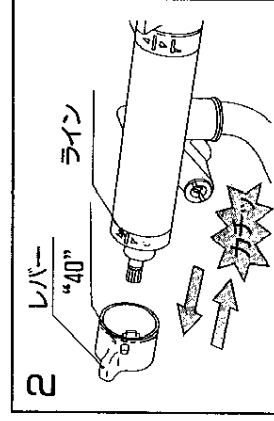
● 温度調節ハンドルの目盛どおりの湯が出ない場合は、次の要領で温度調節をしてください。

調節する前に

- 止水栓を全開しているか確かめてください。
- ストレーナのごみつまりはないか確かめてください。
- 常用給湯温度(50℃以上)の湯がきているか確かめてください。



切替ハンドルを回してカランより吐水させ、温度調節ハンドルを目盛に關係なく40℃の湯が出る位置まで回してください。



温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜きとってください。

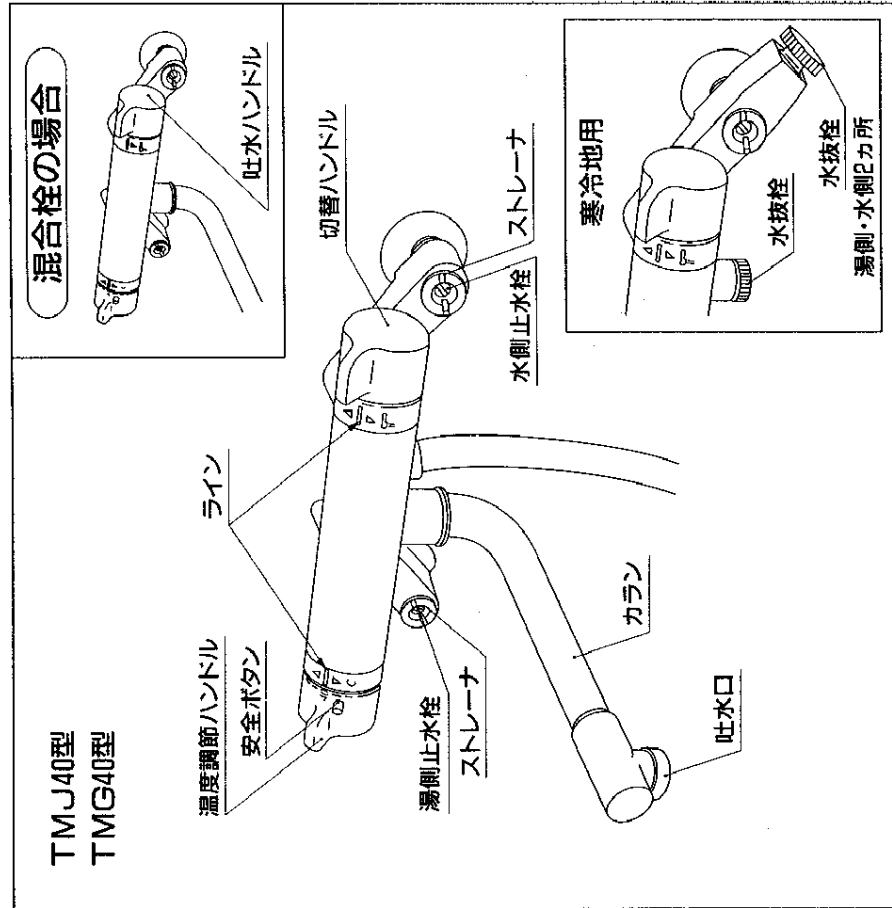
※ハンドルははめ込式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、レバーを傷が付かないように軽くたたいてください。
目盛の“40”の文字とラインを合わせ、温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。

特長・各部のなまえ

1. サーモスタットの働きで混合水の温度をほぼ一定に自動調整しますので、使用中に給水・給湯圧力が変わってもほとんど温度変化はありません。
2. 温度調節ハンドルの操作ひとつでお望みの温度に変えられます。
3. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。

● サーモスタットシャワー金具・混合栓

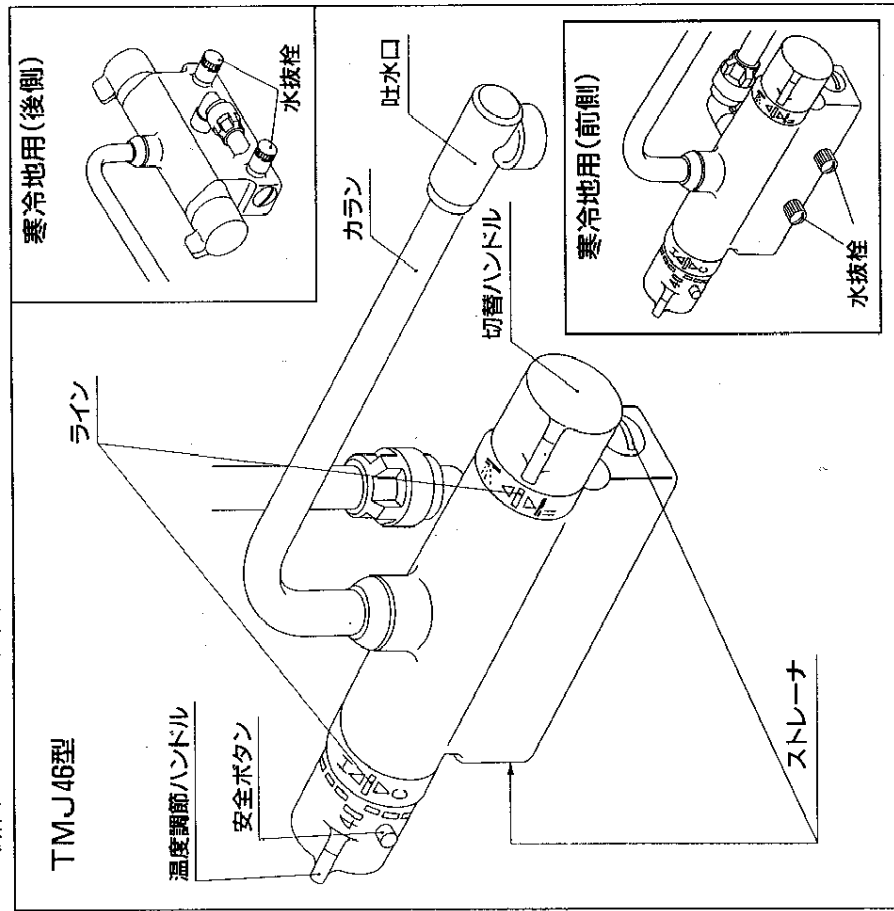
※ 品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



4. 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので、誤って熱湯を出すことはありません。
5. 圧力調整や内部の分解・清掃に便利な止水栓を設けています。
(TMJ40型、TMG40型の場合)
6. 寒冷地用は器具内の水抜きができる水抜栓を設けています。

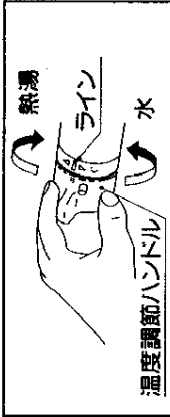
● 台付サーモスタットシャワー金具

※ 品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



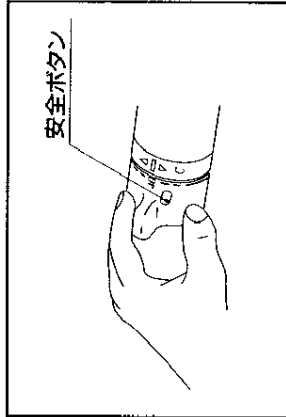
つかいかた

1. 温度調節



温度調節ハンドルを回してお好みの温度をラインに合わせてください。目盛“40”は目安としてください。

2. 安全ボタン

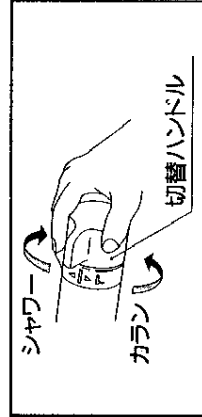


誤って熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。温度調節ハンドルは目盛“40”付近でロックされますのでこれより高温で吐水したいときは、安全ボタンを押し回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛“40”以下に戻しておいてください。

3. 吐水と止水

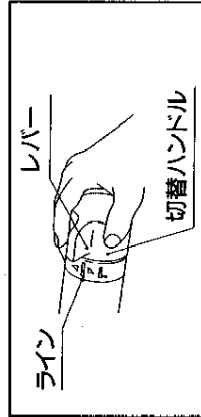
シャワー器具の場合

吐水



切替ハンドルを手前へ回すとカラシから吐水し、後ろへ回すとシャワーから吐水します。また、いっぱいに戻すと吐水量が最大になります。

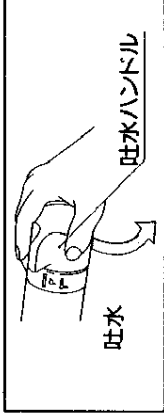
止水



吐水を止めたいときは切替ハンドルのレバーとラインを合わせてください。

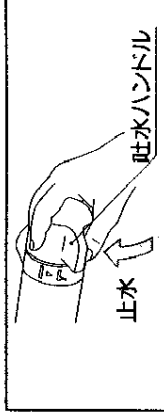
混合栓の場合

吐水



吐水ハンドルを手前へ回すと吐水します。さらにいっぱいには回すと吐水量が最大になります。

止水



吐水を止めたいときは吐水ハンドルを後ろへいっぱいには回してください。

4. シャワー切替(マッサージシャワー・3段切替シャワー付の場合)

(a) 3段切替シャワー

リング部を回転させ目印を図に合わせると

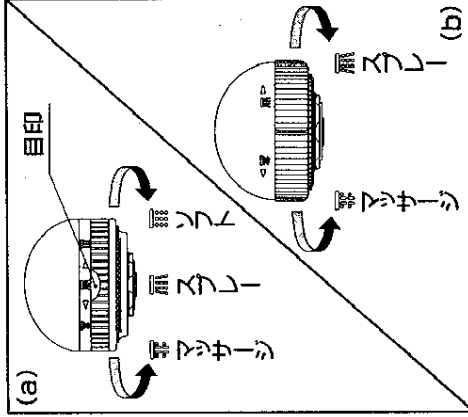
- ・マッサージ吐水
- ・スプレー吐水
- ・ソフト吐水

の3つに切替えられます。

(b) マッサージシャワー

- ・リング部を回転させると
- ・マッサージ吐水
- ・スプレー吐水

の2つに切替えられます。



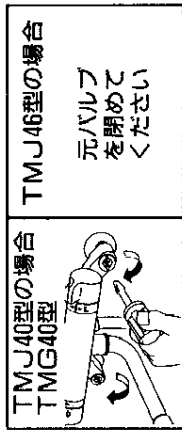
凍結予防のしかた

凍結のおそれがある場合は、同梱の「水抜き方法」のラベルにしたがって器具内の水抜きを行ってください。なお、ラベルは器具の近くに張付けてください。

手入れのしかた

1. ストレーナの掃除

ストレーナが詰ると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので次の方法でときどき掃除してください。

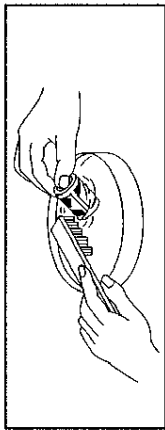
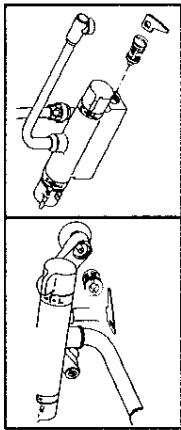


TMJ40型の場合
TMG40型
元バルブ
を開めて
ください

マイナスドライバーなどで湯側・水側の止水栓を閉めてください。

(注)TMJ46型には本体に止水栓がついていませんので、器具手前の元バルブか、又は水道メーター部の止水栓を閉めてください。

開閉工具を溝に差し込み、ストレーナをゆるめて取出してください。
※ストレーナは、どちらのタイプ共水側、湯側の2カ所あります。

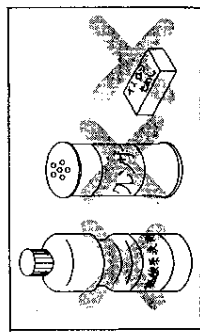


ストレーナの網目に詰ったごみをブラシなどで取除いてください。

2. 日常のお手入れ

いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めっきされたところはときどきミシン油やカーワックスなどをしこみこませた布でみがいてください。ただし、以下の点に十分注意してください。

- 樹脂部（ハンドル・シャワーなど）にミシン油やカーワックスなどが付着すると光沢を失いますので、付着しないようにしてください。
- クレンサー・みがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわなど粗めはめっき面を傷つけますので使用しないでください。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。



故障したときは

故障したときの修理はお取付工事店にご依頼ください。
なお、ご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はご家庭でも直せますので、修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

現象	お調べいただくところ
■吐水量が少ない	● 止水栓は全開されていますか。 ● ストレーナにごみはたまっていますか。
■高温しか出ない ■低温しか出ない	● 止水栓は全開されていますか。 ● ストレーナにごみはたまっていますか。 ● 温度調節は適当ですか。
■目盛どおりの湯が出ない	● 止水栓は全開されていますか。 ● ストレーナにごみはたまっていますか。 ● 温度調節は適当ですか。

※点検方法は「ストレーナの掃除」・「温度調節のしかた」の頁を参照ください。

●メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	電話 ()